

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ラウレアama		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令を遵守しながら、適切な支援スペースを確保しております。	今後も安心して通っていただけるよう、スペースの確保や定員厳守に取り組んでまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		お子様が安心して過ごしていただけるよう配置基準以上の人員を配置しております。	今後も継続して、人員基準に沿った配置を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		建物内は平面構造になっており、ひらけた空間となっております。	引き続き学習スペースや休憩スペースを設けるとともに児童が落ち着くために最適な環境を整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		心地よく過ごせる環境づくりのために、おもちゃやお子様がよく触れる場所を中心に毎日清掃を実施しております。	細かな清掃まで行き、お子様が安心して過ごせる環境を整えてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別スペースを確保し、必要に応じて気持ちを落ち着ける時間や個別活動が行えるように配慮しております。	今後もお子様の様子に合わせた支援と環境づくりに取り組んでまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日朝礼と終礼、毎月職員会議を行い、PDCAサイクルを回すことで業務改善に取り組んでおります。	新入社員を含む全職員がPDCAサイクルを活用できるよう、日ごろから話し合いを行い、統一した支援を目指してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々の保護者様へのヒヤリングに加え、この度、自己評価を実施させていただきました。	今回が初評価でしたので、今回いただいたご意見をもとに、継続していく点と改善点を明確にしてより良いサービスを追及してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティング等で出た意見を協議し、業務改善につなげております。	今後も職員間で情報共有を行い、業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在は行っておりません。	今後は第三者による評価を取り入れることも視野に入れてまいります。また実施の際は保護者様にご共有させていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		職員の定期的な社内研修に加えて、職員の知識・技術向上のための外部研修への参加も実施しております。	今後も継続して、社内研修や外部研修に参加し、より良いサービスを提供できるよう心掛けてまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、HPIにて公表しております。	支援内容に変更や相違がある場合には、都度更新を行い、支援の見える化に取り組んでまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		お子様一人ひとりにアセスメントを行い、保護者様のご意向も踏まえながら、ニーズや課題を整理した個別支援計画の作成に取り組んでおります。	今後も保護者様とお子様両方の意見をくみ取りながら個別支援計画の作成に取り組んでまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者だけでなく支援にかかわる職員が情報を共有し、お子様の最善の利益を考えた検討を行っております。	引き続き、児童発達支援管理責任者を中心に専門職員の意見や普段の様子なども取り入れながら、お子様にあった個別支援計画の作成を行ってまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者より個別支援計画の内容を共有し、支援方針を職員間で話し合い、振り返りながら適切にご提供させていただいております。	今後も計画に沿った支援が行えるよう、職員間での連携強化に努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		行動観察や記録を通じてお子様の状況を把握し、フォーマル・インフォーマルなアセスメントを活用しております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインを踏まえ、必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を反映しております。	今後も継続して、取り組んでまいります。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	活動プログラムは職員間で意見を出し合い、お子様の成長や興味関心を踏まえて立案を行っております。	今後も職員間で意見を出し合い、様々なプログラムを提供してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	メインプログラムとして曜日固定しているプログラムはありますが、プログラムの内容が重複しないよう、イベント会議にて内容を精査し、様々な活動プログラムを取り入れてお子様に楽しんでいただけるよう工夫しております。	今後も都度プログラムを見直し、様々なプログラム・イベント活動を取り入れるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	お子様の特性や状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせた支援を実施しております。	お子様一人ひとりの個別活動に対する支援の幅を拡大させていくために、継続して会議を実施し、児童発達支援計画を作成いたします。また、日々の話し合いの中で職員間で意識を高めながら、より一層支援の質向上に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	毎日の朝礼と終礼、毎月の職員会議で支援内容及び各職員の役割分担について打合わせを行い、確認を実施しております。	役割分担を行い、抜けのない支援を継続してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	支援後には記録にて情報を残し、翌日の朝礼で全体周知と改善に向けた話し合いを実施しております。	今後もより良いサービスを提供するために、お子様の情報を職員間でより密に共有し、課題の抽出と対応策の考案を行うことを目的に、日々の話し合いに加え支援会議を実施してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	終礼議事録を使用して日々の支援内容を記録し、支援の妥当性や改善点を検討する材料としております。	記録をもとに支援の振り返りを行い、検証と改善に努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	適切なサービスを提供し続けるために、日々お子様の成長を分析しております。さらに定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しや調整を行っております。	利用者様の日頃の様子や保護者様のご意向を踏まえて、必要に応じて見直しを行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	イベントにて子ども会議を行うなどし、お子様主体の話し合いの場を設け自己決定する力を育てる支援を行っております。	今後も継続して、取り組んでまいります。	
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	関係機関との連携は、施設のことやお子様のことをよく理解した者が行っております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	地域の機関と連携することができる体制を整えております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	本人を取り巻く関係機関と連携をとって支援を行っております。また送迎時等で、学校の先生方ともお話をし情報共有を行っております。	令和8年4月から新学年になり、担任の先生の変更、お迎え場所の変更などある為、連携調整の体制を整えてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	保護者様から情報共有をしてもらい、支援に繋がっております。就学前の園との情報共有については改善の余地があるため、今後改善してまいります。	令和7年7月の開所のため、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等での情報共有は保護者様より情報共有いただいております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	令和7年7月開所のため、まだ機会がありませんが、今後機会があった際には、情報共有に力を入れてまいります。	障害福祉サービス事業所等へ移行するお子様がいた場合には速やかにそれまでの支援内容等の情報を提供してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	連携はまだ改善の必要があり、今後は積極的に助言や研修を受ける機会を設けてまいります。	今後は積極的に連携を図り助言や研修を受ける機会を設けてまいります。

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	現在、地域の他のお子様との交流はございません。	今後、地域の他のお子様との交流を検討してまいります。交流が決定しましたらご報告いたします。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	市の協議会などに可能な限り、積極的に参加をさせていただいております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	連絡帳と併せて、送迎時にその日のお子様の様子をお伝えしております。また、保護者様からのお悩みをいただいた際には、必ず職員間で周知し保護者様と職員で共通理解を出来るようにしております。	今後も継続して、取り組んでまいります。ご要望がありましたら、お気軽にご相談くださいませ。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	現在、明確なペアレント・トレーニングの実績はございませんが、日々の送迎時や家族支援にて保護者様へのヒヤリングと定期的なモニタリングを通じた保護者様からのご相談受付を随時実施しており、ご質問に対しては職員間で協議したうえで、保護者様にご回答とご助言を実施させていただいております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	ご契約時に保護者様に対して、ご説明を行っております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	契約時のアセスメントやモニタリングを通して保護者様のニーズを聞き取り、計画に作成や支援を行っております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	計画を説明したうえで、保護者様に同意をいただいております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	日々、保護者様からの相談等には迅速かつ適切に対応しております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	現在は保護者会等は行っておりません。	保護者様同士が交流できる機会について、今後必要に応じて検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	保護者様からご相談や申し入れがあった場合には、児童発達支援管理責任者を中心に職員間で話し合いを行い、迅速かつ適切に対応できるように体制を整えております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	定期会報の発行はしていませんが、日頃のお子様の活動内容や様子についてはSNS(InstagramおよびLINE)にて、週2回投稿をしております。また、活動内容の予定については、イベント予定表にて情報発信をしております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	SNS等の投稿や配布物には、ダブルチェックを行い児童の個人情報が漏洩していないか厳重に確認しております。また、個人情報の記載がある書類は、鍵付き書庫に保管をし取り扱いには十分に注意を払っております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	保護者様のご意見を尊重した上でお子様一人ひとりに合わせて最適な情報伝達方法を職員間で検討し、随時実施させていただいております。	保護者様への情報伝達ツールとして、日々の活動の記録をした連絡帳の活用もしております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	現在は事業所の行事に地域住民の招待等の対応は行っておりません。	情勢に応じて、適切に検討してまいります。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	各種マニュアルを策定し、周知するとともに定期的に訓練を実施しております。	今後も継続して、取り組んでまいります。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	制定したマニュアルを元に、緊急事態を想定し、お子様と職員を含む定期的な避難訓練を実施しております。 また、緊急時の対応意識を高める目的で定期的に職員に対する研修の実施を行っております。 それに際して、訓練や研修の様子をSNSにて保護者様へ周知させていただいております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	ご見学時やご契約時にて、服薬状況やてんかん等のお子様の現状および既往について、細かくヒヤリングさせていただいております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	ご見学時およびご契約時にて、アレルギーの有無とそれに際した対応等について、保護者様より細かくヒヤリングさせていただいたうえで、その内容については職員間で共有しております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	安全計画を作成し、それに基づいた研修や訓練などを行い、安全管理が十分な状態で支援を行っております。	その他の措置を講じる必要がある場合には、速やかに対応いたします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	お子様の安全確保を第一に行い、保護者様の周知・共有にも注力しております。	今後もお子様の安全を守るために、保護者様と連携を図りつつ、施設での取り組み等は適宜ご共有させていただきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	毎日の朝礼にてヒヤリハットが起きた場合は必ず情報共有を行い、その内容については全職員が閲覧できるよう書類を作成しております。	今後も継続して、取り組んでまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	日頃の虐待防止に対する適切な対応に加えて、法令に遵守した定期的な虐待防止研修を実施しております。	今後も定期的な研修実施を継続して取り組んでまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	ご見学時およびご契約時に身体拘束ならびに行動制限にあたる事例をご提示し、詳しくご説明を行ったうえで、同意を得ております。 また、その内容については児童発達支援計画に明記しております。	今後も継続して、取り組んでまいります。